



貿易学科

人材養成および教育研究上の目的

貿易学科は、急速に進展するグローバリゼーションに適応し、それを先取りできるビジネスマインドを持った国際教養人の養成を目指す。すなわち、グローバル企業の活動、国際取引及び国際関係を理解できる能力を持ち、世界で活躍できる人材又は地域と世界を結び付けることのできる能力を持った人材を養成することを目的とする。

三つのポリシー

❖アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

貿易学科は人材養成・教育研究上の目的を達成するために、

1. 国際感覚を持ったビジネスリーダーを目指す人
2. 地域と世界をつなぐニュービジネスリーダーを目指す人
3. 異文化社会とグローバリゼーションに興味・関心を持っている人
4. ビジネス英語、英会話に興味・関心を持っている人

の入学を求めています。

❖カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

貿易学科は、急速なグローバリゼーションの進行に対応、適応し、かつそれを先取りできる国際感覚を持った人材の育成を目指し、グローバル企業の活動や国際取引そして国際関係を理解できる能力、ビジネスに必要なコミュニケーション能力、ビジネスの場で通用する実践的な英語能力を身につけさせるために、次のようにカリキュラムを編成します。

1. 1年次では、導入科目として「貿易入門 A・B」、「貿易基礎ゼミナール」を配置し、貿易の歴史、現状、理論の基本を学ぶとともに、ネイティブスピーカーが担当する「ビジネス英会話 初級」を設置して、ビジネスの場での異文化世界に接する場を設置します。
2. 2年次からの専門教育においては、国際ビジネス関係科目、ビジネス英会話中級・上級科目、貿易関係科目、各国経済論科目、国際金融関係科目を配置し、学生のニーズに応じて段階的に学べるよう工夫します。
3. 2年次後期から4年次まで、興味を持つ貿易分野について主体的に学習を深めるこ

とができるよう少人数のゼミナールを設置します。

❖ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

貿易学科では、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修得し、特に次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学士の学位を授与します。

1. 貿易の専門知識を修得し、それを用いて自ら問題を発見し、解決する能力
2. 異文化社会で通用する協調性、指導力およびコミュニケーション能力